

平成24年度 学校評価総括表の作成について

1、 学校経営の概要と評価体系の概要

平成24年4月に提出された学校経営計画書を経営指針に従って組立て直した。

- ①総括表の集計総括評価は、各観点ごとを集計して4段階評価(4, 3, 2, 1)で記入。
- ②水準について

【集計総括評価の基準】 観点ごとの内容

- 4 目的別に十分達成されている。(実績が上がっている)
- 3 目的別におおむね達成されている。(おおむね実績が上がっている)
- 2 目的別にある程度達成されている。(ある程度は実績が上がっている)
- 1 目的別に達成が不十分である。(実績がほとんど上がっていない)

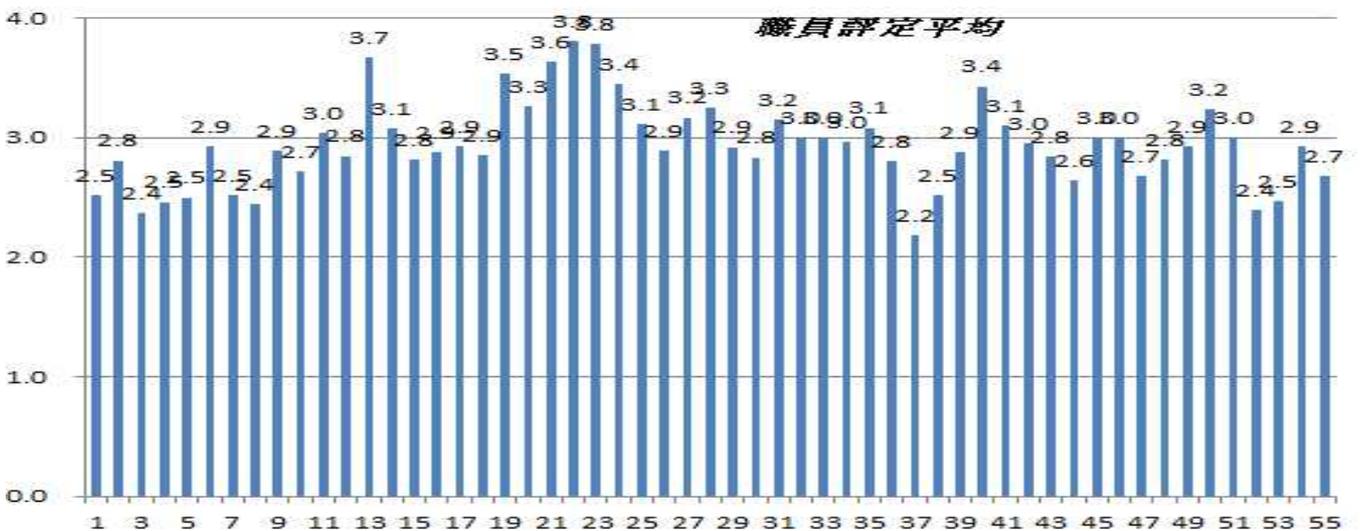
※職員評価は、職種のちがいで答えられない項目もあるので「わからない」の選択肢がある。

2、 学校評価のための教職員アンケート結果

4 : よく出来ている 3 : 大体できている 2 : あまり出来ていない 1 : 出来ていない 0 : わからない

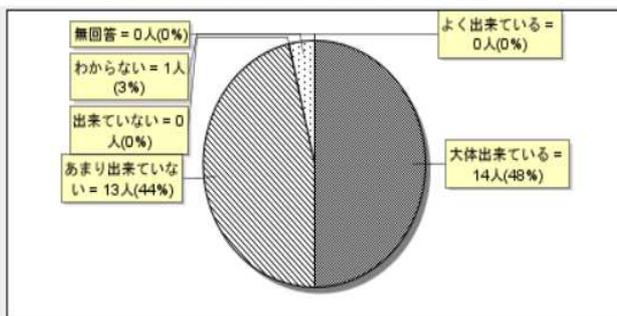
男子14名 女子14名 計28名

※縦軸(評価点数平均)・横軸(評価項目)

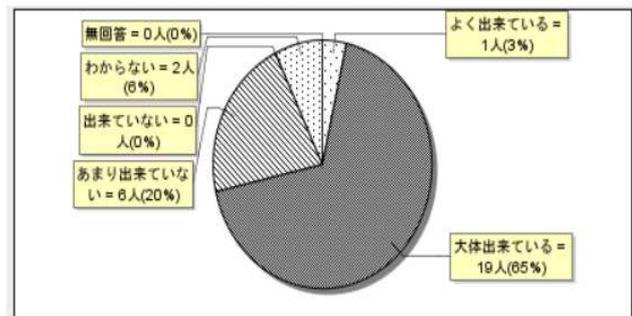


(1) 教育経営

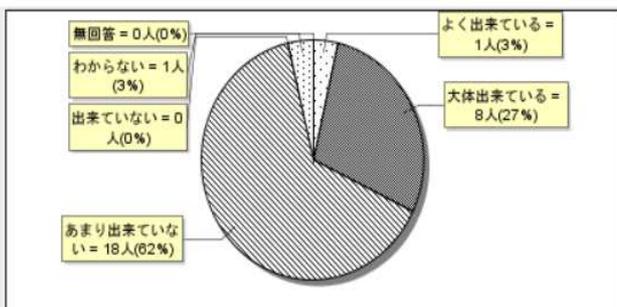
1. 21世紀を生きるたくましい力と豊かな心を持った生徒を育てる



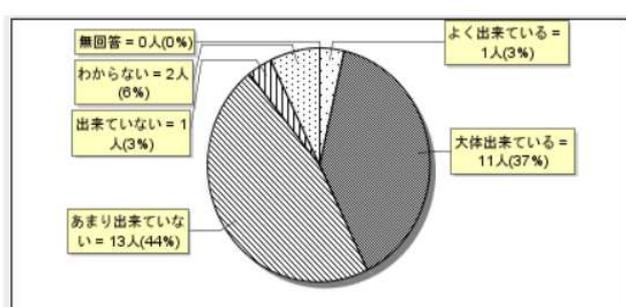
2. 生きてはたらく力を身につけた生徒



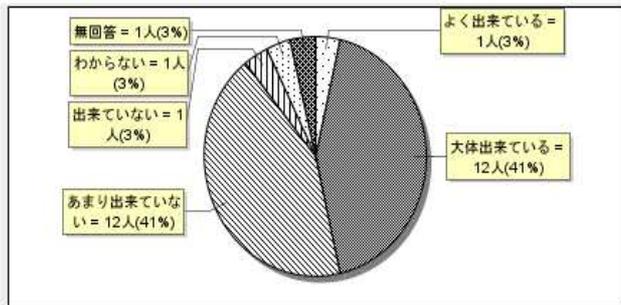
3. 逞しい体力と忍耐力を身につけた生徒



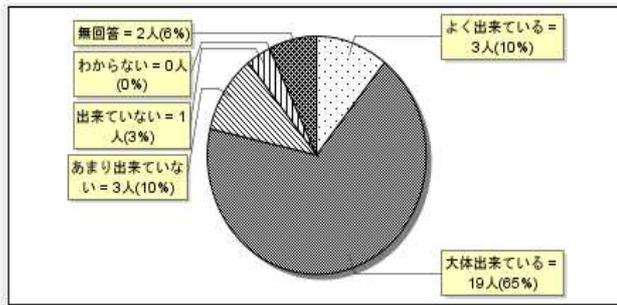
4. 勤労を尊び、自ら奉仕し実践していく生徒



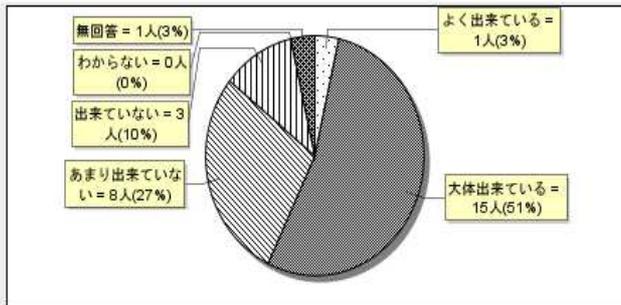
5. 互いに磨き合い、成長する生徒



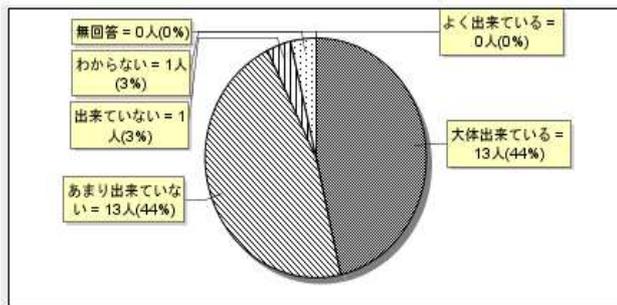
6. ☆情報豊かで品位のある生徒



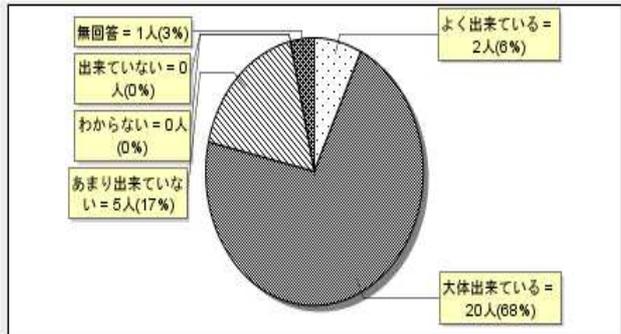
7. 学校生活全体を通じて、登下校、校内生活において「挨拶の
でき生徒が育てられた



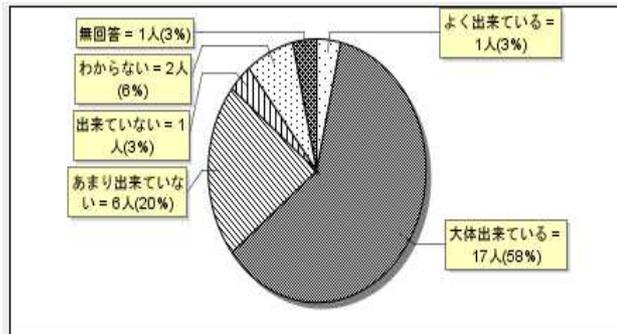
8. 学校生活全体を通じて「ありがとう」や感謝の気持ちを伝
えられる生徒」が育てられた



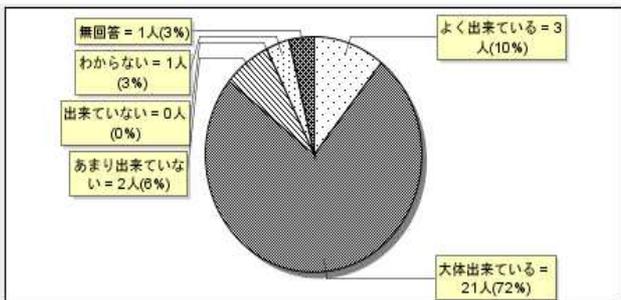
9. 学年・学級・分掌の環境物は、意図的に作成したか



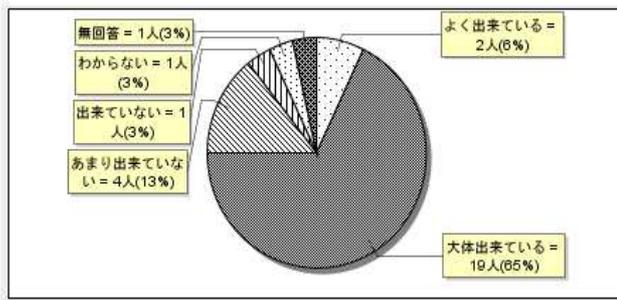
10. 学年目標達成のために組織が機能し職務を果たせたか



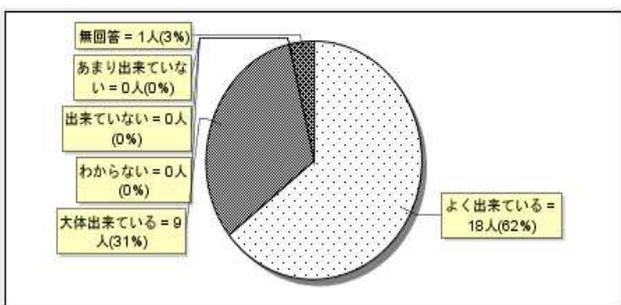
11. 生徒の活動を分担し、遂行させ、評価してやる事ができ
たか。



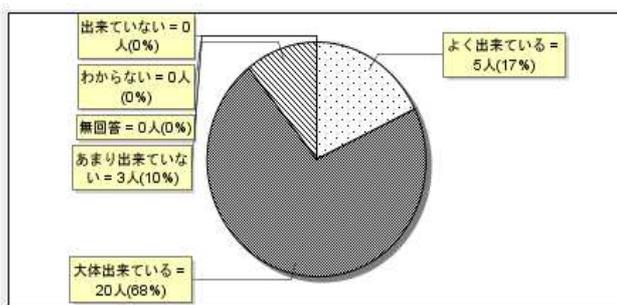
12. 生徒の内面を引き出すように カウンセリングマインドで接し
か



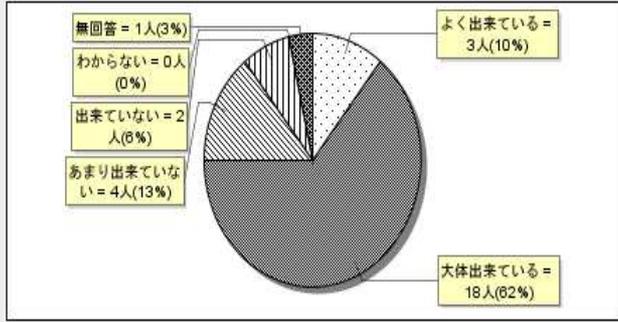
13. 自己の管理する生徒個人情報には校内規定に従って適切に管理し
ているか。又不祥事防止の為職員室以外から持ち出していないか



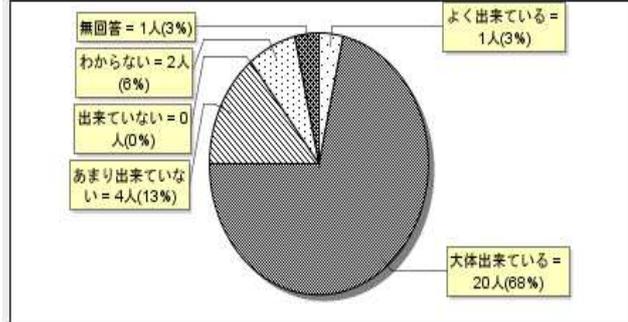
14. 生徒の防犯・交通安全に関わる指導や見回りなど適宜行っ
ているか



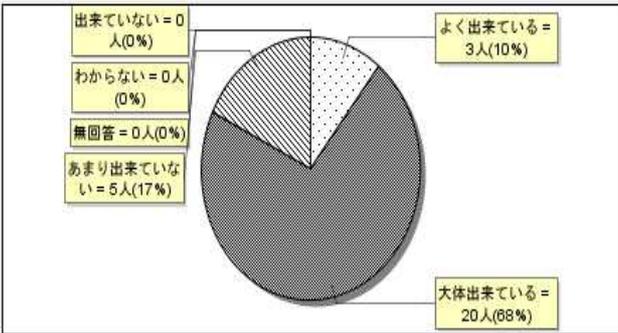
15. 各分掌活動の資料・記録を適切にまとめ、評価を計画的に行い、改善充実を図っているか



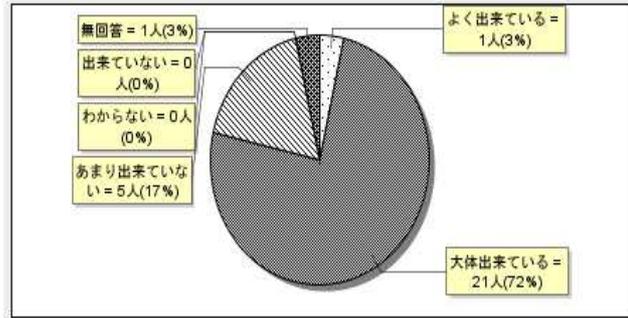
16. 研究主題「自ら課題意識を持ち生き生きと学習する生徒の育成」を目指して豊かな人間関係作りを意識した学習指導の工夫と改善に努めることができたか



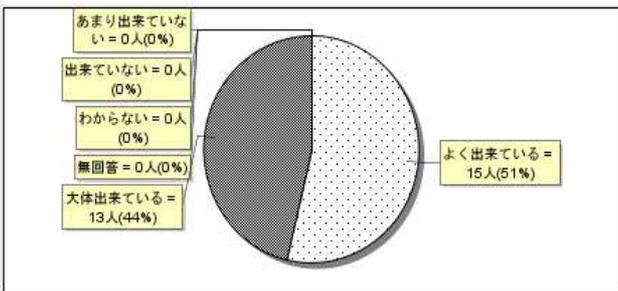
17. 目標申告に基づき自己啓発的に研究・研修に取り組めたか



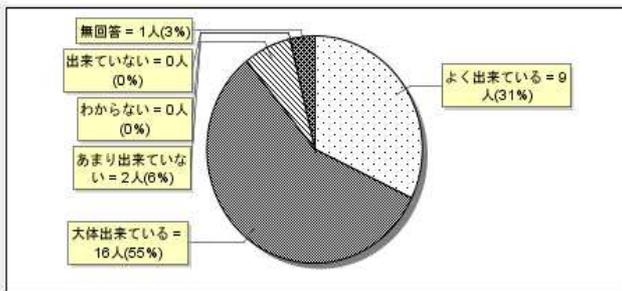
18. 生徒の人間性や人権に配慮した言語環境を作りだせたか



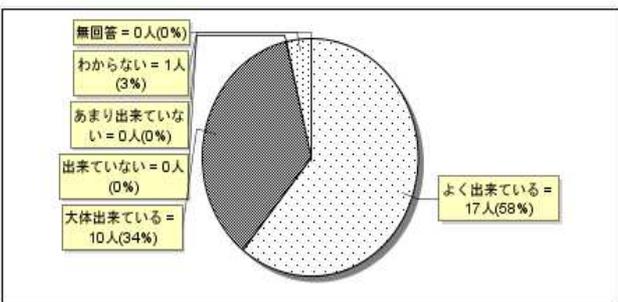
19. 教育公務員として、社会に信頼されるような服務処理を行っているか。



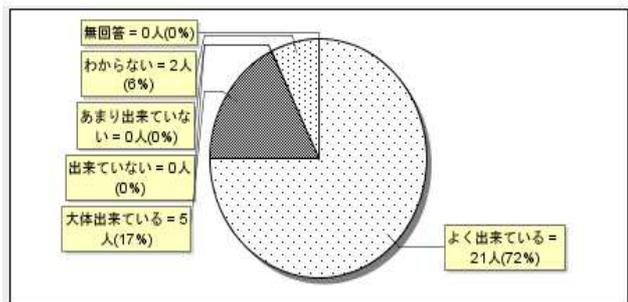
20. 文書の作成・整理・保管は期限を守り適正に処理できたか



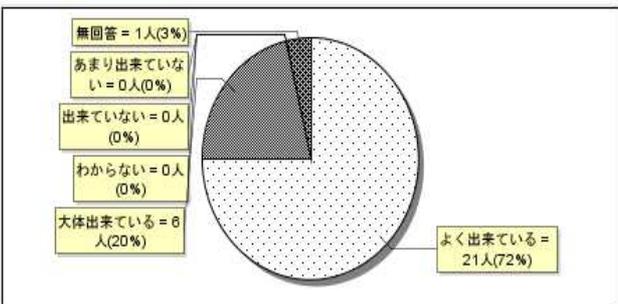
21. 学校・学年・学級、部活動の会計を正確・適正に処理し、関係書類を適切に保管しているか



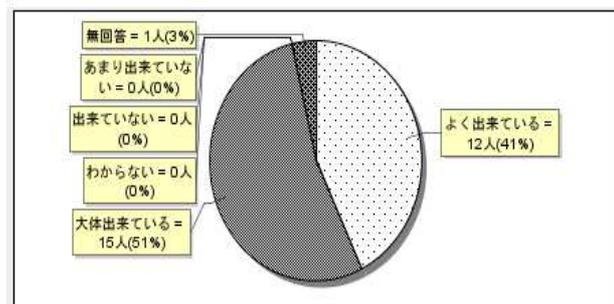
22. 保護者に適切な会計報告を行っているか



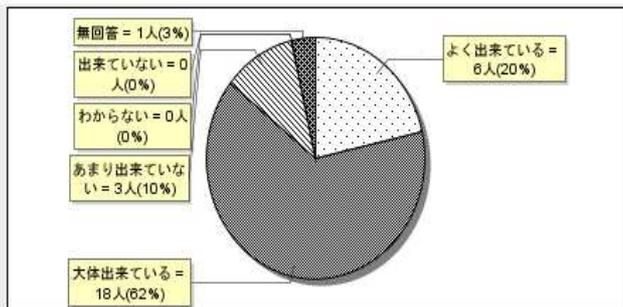
23. セクハラ、体罰、飲酒運転等の不祥事の事例を他山の石とし、常にコンプライアンスの意識を高く持っているか



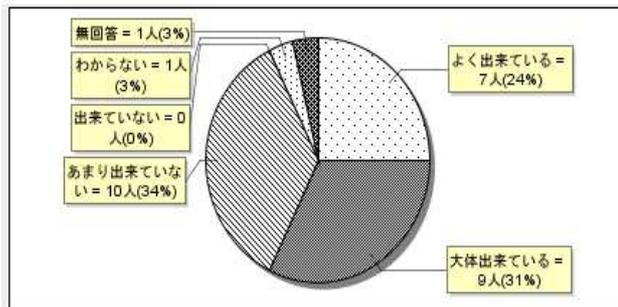
24. 教材・教具等を有効に使用し、使用後の整理や保管を適切にできたか



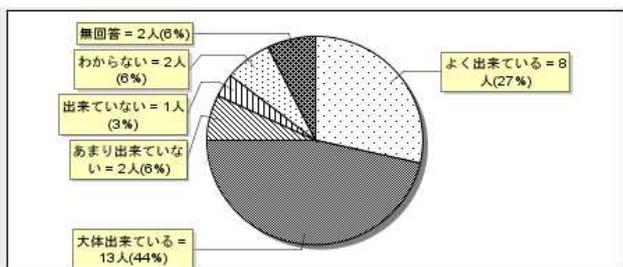
25. 安全点検区域の施設・設備の点検を忘れず行い、その結果を適切に処理できたか



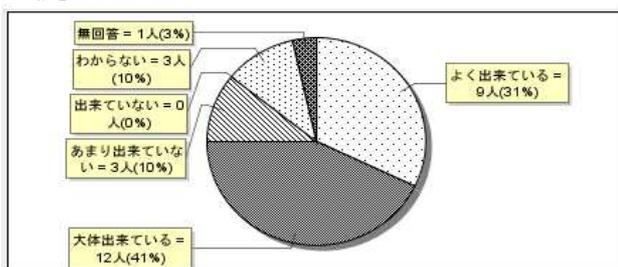
26. 自分自身は保護者地域に学習や活動のねらいを理解してもらうための十分な情報を提供しているか



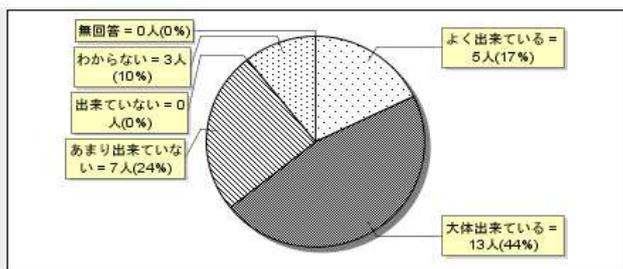
27. 特別支援を必要とする生徒の個別指導計画を作成しているか



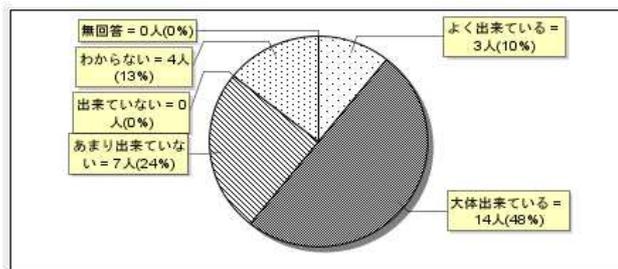
28. 特別支援を必要とする生徒の指導方針が学校全体として共通理解するよう情報を出しているか



29. 特別支援コーディネーターに情報を報告し、校内委員会を機能させているか



30. 体力テストの結果を生かし、生徒の体力の向上及び健康の保持増進に関する指導を進めているか



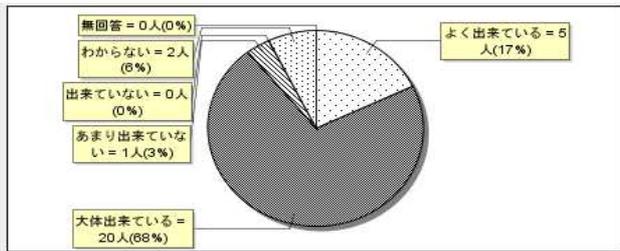
《考察》・・・(1)教育経営について1～30

教職員の学校教育目標及び具体的な生徒像に対する意識であるが、「生きてはたらく力」と「情操豊かで品位のある生徒」については「出来ている」が約70%をしめ、職場体験学習や久寺家学習を通じて具体的な指導の手応えを感じている職員が多いようである。一方「体力、忍耐力、勤労奉仕」などをどう身に付けさせていくかが今後の課題となる。

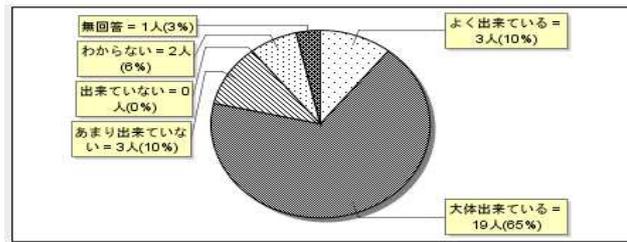
あいさつについては毎年の課題となっているが、この後にある生徒、保護者の評価でも改善傾向にあることを感じているようである。あいさつも気持ちのこもった挨拶、場に応じた挨拶を身につけ、自分の意志をしっかりと伝えられるコミュニケーション能力の質を高めていけると良い。学級経営については、日頃から職員に「生徒への丁寧な対応」を心がけさせているが、生徒の安全も含め職員の意識は高い。「不祥事防止」についてはその意識は高いものの、取り組みについては今以上に努力が必要であると考えている職員が多い。「特別支援を必要とする生徒」への個別対応についても、できていると考える職員が多く、職員どうしや関係機関との情報交換も活発に行われている。今後は特別支援コーディネーターを中心としたチームでの個別支援を体制を更に強化していきたい。

(2) 学習指導

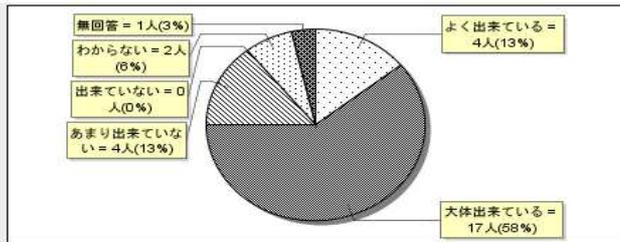
1. 各教科等の指導では、生徒の興味・関心を深めるよう自主的・自発的な学習を促しているか



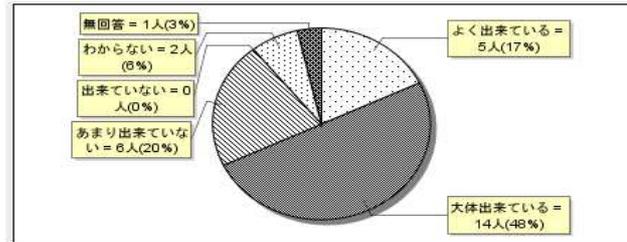
2. 各教科等の指導では、個に応じた指導を積極的に行い、工夫・改善をしているか



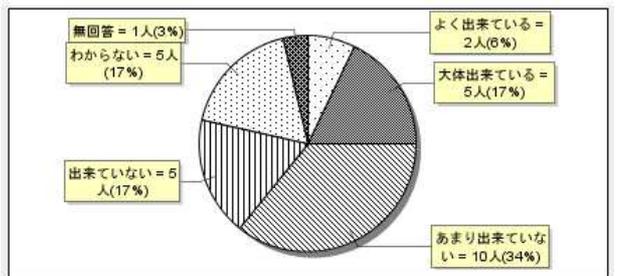
3. 学習指導要領に基づき、教材ごとに各単元の目標・内容・指導時数等の見直しを計り年間指導計画を作成しているか



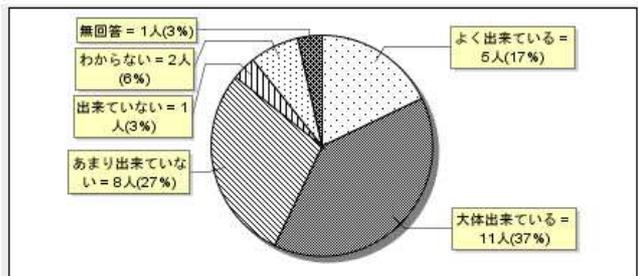
4. 学習指導要領に基づき、観点別学習状況の評価基準を作成し、活用しているか



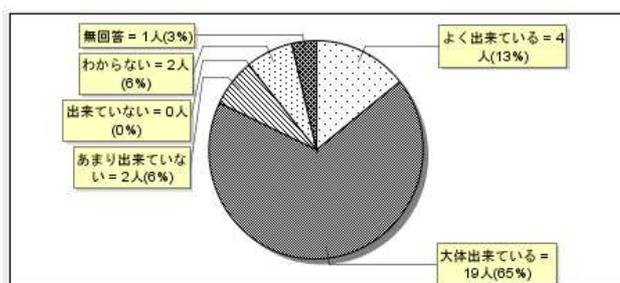
5. 指導内容の重点化、精選をし、問題解決的な学習など指導方法を工夫・改善し、授業を進めているか



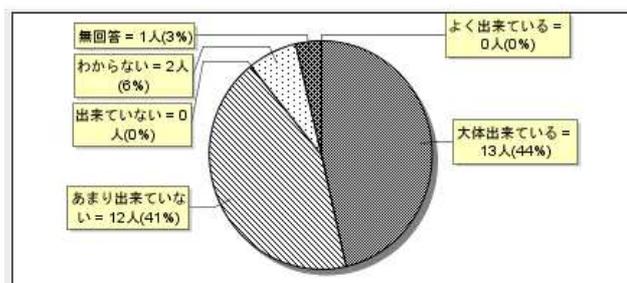
6. 指導内容や指導方法について自己評価をし、適宜教科部会等で検討し、次年度に生かそうとしているか



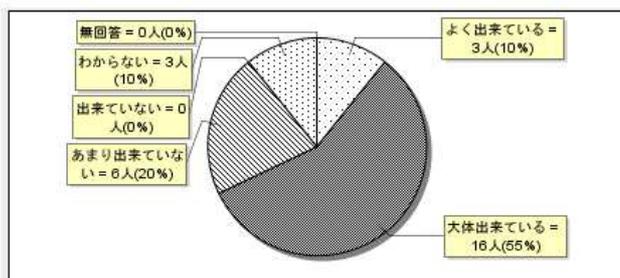
7. 道徳の時間の指導は、ねらいと資料及び展開大要を明示した年間指導計画のもとで毎週行っているか



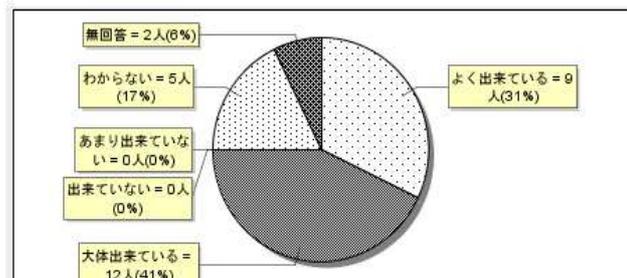
8. 生徒が自らの生き方を振り返り、内省することができるか



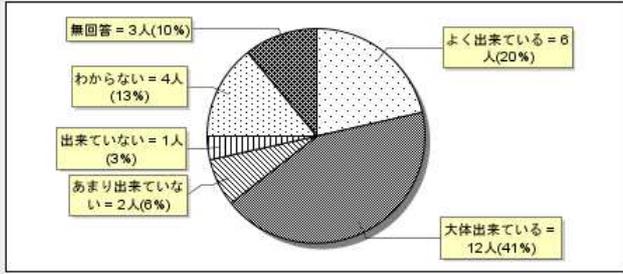
9. 学級活動等において、計画的にキャリア教育が進んでいるか



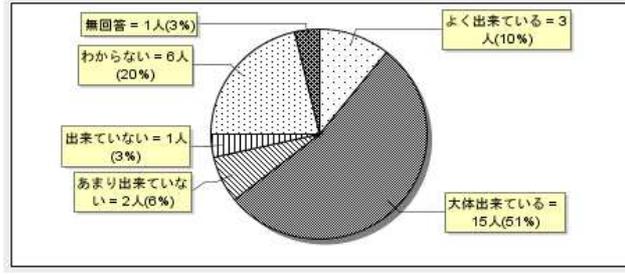
10. 2、3年生の職員は久寺家学習の講師と積極的かつ充分連携して指導できたか



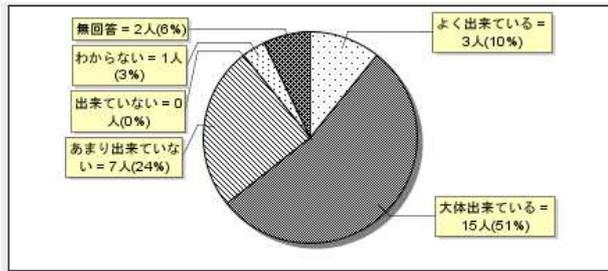
11. 2、3年生は久寺家学習を通して心の修養が図られていると感じるか



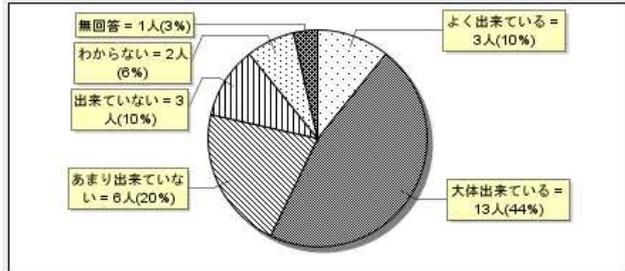
12. 1年生は我孫子郷土学習を通じて、郷土を愛する心が養われているか



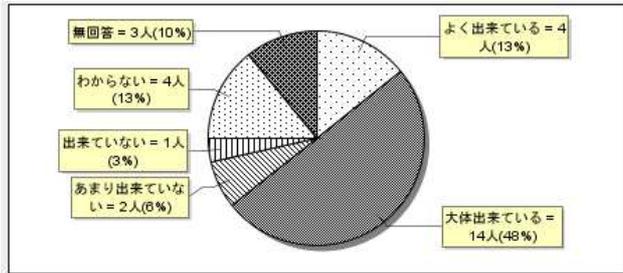
13. 学校の研究の方向、全体計画に沿った学習を行っているか



14. ICTの積極的な活用(教師、生徒)を意識し、よりレベルの高い内容の授業ができたか



15. 3年総合Bの学習により、福祉及び国際理解の学習を発展させることができたか

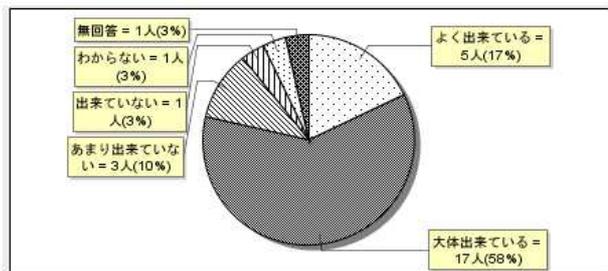


《考察》(2)学習指導について1～15

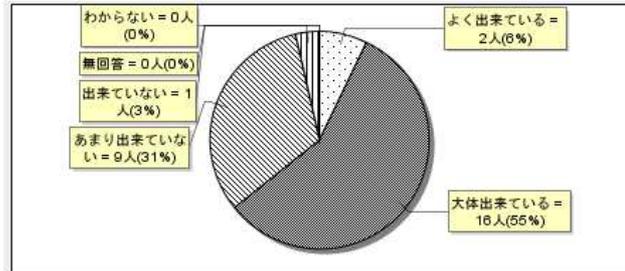
指導要領完全実施の年となり、数年かけて準備してきた年間指導計画や観点別評価の基準を反映させながら授業を組み立てている。指導法なども工夫しているようであるが、後の生徒、保護者の評価では「もっと工夫してほしい」という意見があり更に努力が必要である。久寺家学習や総合学習B(福祉・国際教育)では、一定の成果を感じているものの、道徳や人間関係に関する教育指導には更に努力が必要と感じている職員が多い。

(3) 生徒指導・危機管理

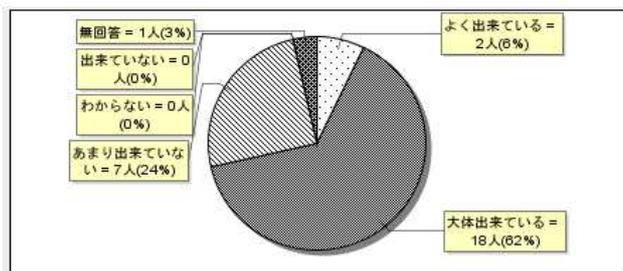
1. 生徒の教育相談を、長欠主任・養護教諭、カウンセラー等と連携して組織的に行ってきたか



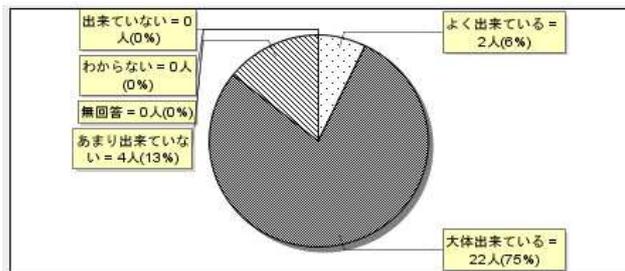
2. 生徒に挨拶、時間のけじめなど基本的な生活習慣が身についていると感じるか



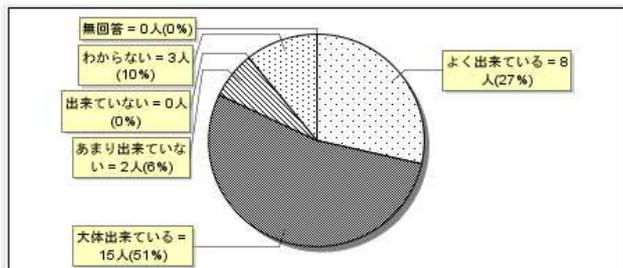
3. 生徒自らが活動できるように生徒会活動・委員会活動・部活動経営の仕方を工夫しているか



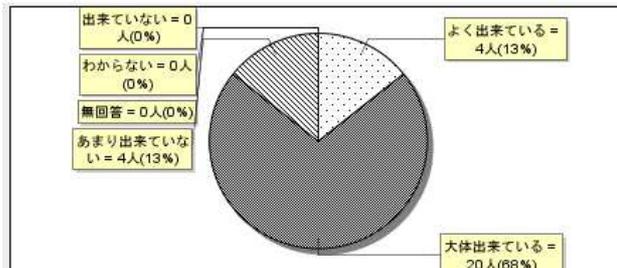
4. 事故災害等の実態を把握し、地震防災安全教育を含む安全指導を「自助、共助」の観点で指導しているか。また安全管理の徹底を図っているか



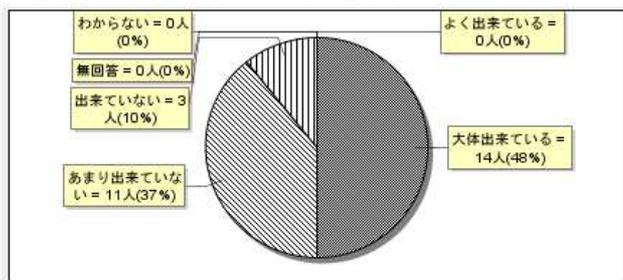
5. 学校防犯について、ボランティアやPTAや各種関係機関との連携・協力を進めているか



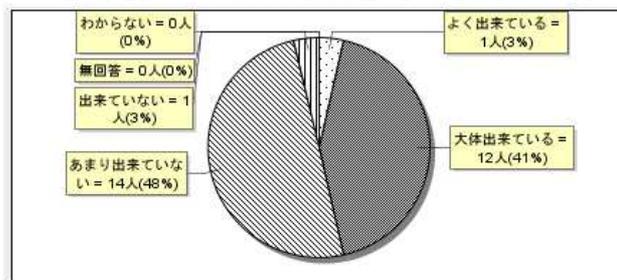
6. 学校生活の向上・充実を図り、当面する生徒指導上諸課題の情報交換が十分になされているか



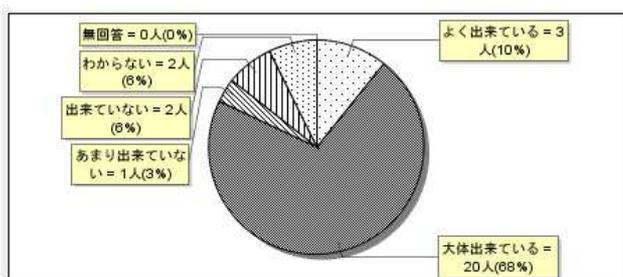
7. 生徒は清掃活動にしっかり取り組んでいるか



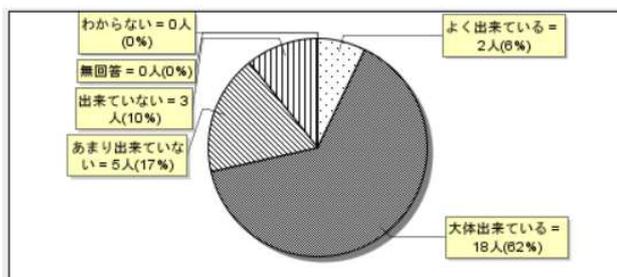
8. 生徒は社会のルールを守り、交通安全にも十分留意し登下校できているか



9. 校内で災害などがおきた場合にも、生徒及び職員は自分の身の安全を守ることができるか



10. 震災以降見直された防災マニュアル等の内容について全職員で理解をはかり訓練等に役立てているか



《考察》・・・生徒指導・危機管理について1～10

本校生徒の多くに基本的な生活習慣が身に付いていると感じている職員が多い。教育相談については、担任や担当のみではなく養護教諭やカウンセラーと連携が効果的であると考えられる職員が多い。特別支援コーディネーターの役割が今後増すものと思われる。災害や事故に対する備えの意識は高いものの、震災後の防災マニュアル等の活用については個人差が見られ、早急に役割分担等の再確認が必要である。生徒の自主的な活動については職員、生徒共に意識の高まりを感じるが、清掃活動は課題があると考えている職員が多い。

全体を通して、学校が落ち着いていると思っている職員が多く、生徒も学習に力を入れ、まじめな生徒が多い。その反面、人どうしのつながりや自主的な活動に物足りなさを感じ、生徒会活動や道徳、学級・学年の時間の充実・改善を図っていく必要がある。

今年度で11年を終えた「久寺家学習」が本校の目指す生徒像の育成に大きく貢献しており、改めて地域にある教育力の素晴らしさを感じた。総合Bの「国際理解」や「福祉体験」の学習も我孫子市国際交流協会や我孫子市社会福祉協議会の協力のもと行われており、地域の教育力をより効果的にカリキュラムに組み込む為に、教科・総合学習や生徒会活動での活用を体系的かつ合理的に再編していく必要がある。